

2022年度秋学期
WINGS-GLAFS
ガイダンス

221001

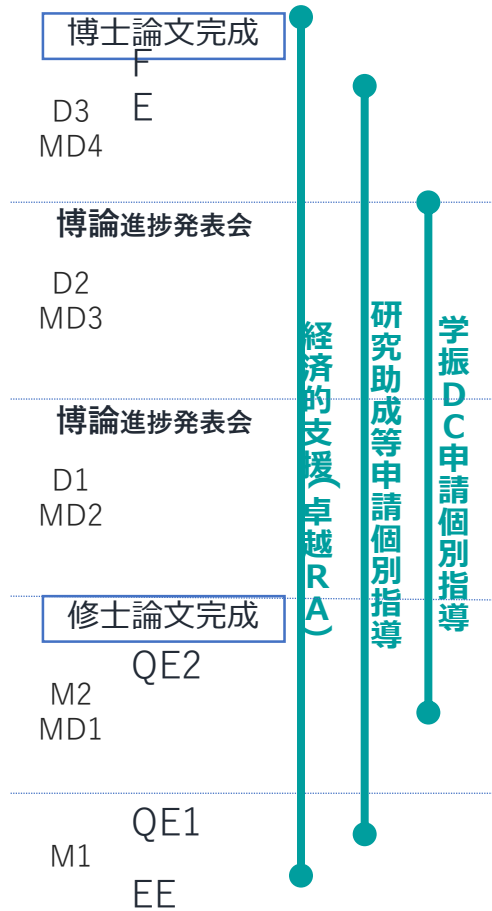
今日のプログラム

- ・ 教員・スタッフ 履修生1~6,7.8.9期生 軽く自己紹介
- ・ IOG機構長 飯島教授 挨拶
- ・ WINGS-GLAFS プログラムコーディネーター (IOG副機構長)
大月教授挨拶
- ・ 2022AセメスターのWINGS-GLAFSプログラム案内
- ・ 履修生 深く自己紹介 +アルファ

WINGS-GLAFS

高齢社会総合研究国際卓越大学院

日本がリードする人類共通の新課題「高齢社会問題」における基盤的総合知の習得・最前線での体験を通して自らの専門領域研究力の強化を図る。



日本を皮切りに世界共通の社会課題となっている「高齢社会問題」は今や、全ての学問領域の共通の研究背景となっています。

多角的・総合的に行われている高齢社会問題をめぐる基盤的総合知を体系的・効率的に学ぶことを通して、

皆さんのそれぞれの専門領域の研究の幅を広げ、研究力の強化につなげます。

専門領域研究力の高度化

現場解決力

必修1単位 高齢社会演習
高齢社会総合研究の最前線における「現場解決力」の修得
※2021年度中は「高齢社会総合研究実習」

俯瞰力

必修1単位 高齢社会通論1【心と体の健康】
必修1単位 高齢社会通論2【社会環境】
日本がリードする人類共通の新課題「高齢社会問題」における、基盤的総合知の習得
※2021年度中は「高齢社会総合研究概論」

領域連携力

選択必修4単位 高齢社会横断科目群
各専攻等の提供科目を通して、自らの専門領域あるいは他の領域を超高齢社会の視点で学び考える力の修得
※2022年度から開講

民間企業、研究機関、国内海外大学等

第一線で活躍する
修了生

高齢社会総合研究機構
(IOG)

産業界

企業・団体

官(行政)

国・都道府県・市区町村

地域

住民・NPO・町内会自治会

国際

海外連携大学

9研究科・1学府

(※ 本プログラムでは現在「参画専攻の拡大」を実施中のため、新たに参画専攻が上記に加えられることがありますので、最新情報はHPでご確認ください。)

工学系研究科全専攻・医学系研究科5専攻・人文社会系研究科1専攻・法学政治学研究科1専攻・農学生命科学研究科7専攻
教育学研究科2専攻・総合文化研究科1専攻・情報理工学系研究科1専攻・新領域創成科学研究科3専攻・学際情報学府1専攻

WINGS-GLAFSの修了要件

■単位の修得 合計：必修3単位+選択必修4単位

- ・ <必修> 高齢社会総合研究学通論1・2 (1単位×2科目・2単位)
- ・ <必修> 高齢社会総合研究学演習 (1単位×1科目・1単位以上)
- ・ <選択必修> 高齢社会横断科目群 (4単位以上)
- ・ WINGS-GLAFS生 (7期、8期) には、さかのぼり適用→取りすぎている単位は「読み替え」

■8月発表会、3月発表会における進捗発表 (QEを兼ねる)

- ・ 修士課程学生：学修進捗発表会 (修論の進捗状況+プログラムの履修状況)
- ・ 博士課程学生：博論進捗発表会 (博論の進捗状況/合計5回の進捗発表と最終発表)

■学振 (JSPS) のDC1,DC2への申請

- ・ 修士2年4月：DC1への応募
- ・ 博士1,2年4月：DC2への応募 (DC1獲得者は除く)
- ・ 獣医学系4年制博士2,3年4月：DC2への応募 (DC1獲得者は除く)

■必修1単位 高齢社会通論1 (3799-461)

【高齢者の体と心：老いとつきあう】 (A1) (飯島)

■必修1単位 高齢社会通論2 (3799-462)

【高齢者を支える社会環境】 (S2) (大月)

●読み替え (7期、8期対象)

- ・ 高齢社会総合研究概論1.2 (各2単位) の既履修単位から通論2単位分に読み替え
- ・ 4単位既履修者は2単位分を「高齢社会横断科目群」に読み替え
- ・ 詳細は別紙シラバス参照 (HPにも載せます)

●飯島 勝矢（高齢社会総合研究機構（IOG）機構長、未来ビジョン研究センター教授）ほか

●ZOOMによるオンライン講義（詳細はUTASで）

●わが国では、団塊世代の高齢化と出生率の低下により、今から8年後の2030年には65歳以上の高齢者が人口の約1/3を占め、75歳以上の「後期高齢者」も倍増して人口の約1/5を占める超高齢社会が到来する。また、韓国、シンガポールも、日本にやや遅れて2040年には高齢者人口が1/3を超え、中国でも2060年には高齢者人口が約1/3に達することが予測されている。こうした急激な人口構成の変化に対応し、医療、介護、社会保障、居住環境、社会的インフラ、就業形態をはじめとした社会システムを組み替える必要性が目前に迫っている。この社会全体の変化を見通し、超高齢社会にむけて社会システムをリ・デザインする取り組みを直ちに開始し、若い人、現役世代、高齢者の誰もが、人間としての尊厳と生きる喜びを享受しながら快活に生きて行ける、活力ある超高齢社会の実現に向けて挑戦していかなければならない。

本講義シリーズではこれらの課題に対して、主として高齢者の体と心について、国内のトップ講師からの講義を受け、老いにつき合うとはどういうことであるのか、その基礎を分野横断的に学ぶことが狙いである。本講義を通じて、高齢者の健康寿命を延ばし、経済活動・地域活動への参加を促すことによって高齢者が快活に暮らし、社会の支え手となって活躍する活力ある超高齢社会について考えていく。

●講義予定

- | | | |
|-------|-----|---|
| 10/5 | 第1回 | ジェロントロジー総論：老いにつきあう（飯島勝矢 IOG・未来ビジョン研究センター） |
| 10/12 | 第2回 | SDGsと教育－生涯学習時代における「学び」のあり方－（北村友人 教育学研究科） |
| 10/19 | 第3回 | 老化と生物学 疾病・障害とヘルスプロモーション（孫輔卿 IOG・未来ビジョン研究センター） |
| 10/26 | 第4回 | 高齢期の社会関係とwell-being（菅原育子 西武文理大学） |
| 11/2 | 第5回 | 転倒・リハビリテーションの支援（田中敏明先生 IOG） |
| 11/9 | 第6回 | 人間・生活支援とテクノロジー（二瓶美里 新領域創成科学研究科） |
| 11/16 | 第7回 | 都市・農村の高齢者と農業のリアリティ（八木洋憲 農学生命科学研究科） |
| 11/30 | 第8回 | 人生の最終段階のケア（山本則子 医学系研究科） |

■必修1単位 高齢社会演習（通年）（3799-463）・1単位＝13P 1P≒1時間参加

- ・読み替え 既履修分のポイントのうち13Pを本単位に読み替え
13Pを超えた分に加えて、25Pに達するPを取得した場合「高齢社会横断科目群（旧実習科目として単位付与）」に読替（それ以上は読み替えしない）
- ・これまでのスタジオ制、ポイント制
以下、現在番号がついているプログラム
2201 フレイル予防（飯島・孫）
2202 めじろ台（大月、李）
2203 G-tech（二瓶、菅原、藤崎、三浦、藪、吉田、吉崎、伊藤研）
2204 豊四季台地域活動館（高瀬、後藤、荻野、似内）
2205 リビングラボ（秋山、吉田）
2206 ジェロントロジー・アカデミー（飯島、辻、田中友、田中康、神谷、高瀬）
その他、レクチャー、IOGシンポ等、随時HPに掲載予定
- ・履修の仕方
担当教員に連絡、履修の希望を伝える
「GLAFS高齢社会演習レポート」に必要事項を記入し担当教員に送付
交通費など必要な経費の支出等は担当教員に尋ねる
今年度から、通論の履修を終了しなくても演習を履修できる



高齢社会演習 2022年度 プログラムNo. 2201 「フレイル予防」



■**担当教員**：飯島勝矢（未来ビジョン研究センター・教授）、孫輔卿（未来ビジョン研究センター・特任講師）
田中友規（高齢社会総合研究機構・特任助教）

■**概要**：

人生100歳時代を迎えて、高齢者が安心して住み慣れた地域で自分らしく生きるためには、「健康増進～フレイル（虚弱）予防」が重要であり、そのための地域での戦略的な展開が必要である。そのなか東大IOGでは地域住民主体のフレイルチェック活動を開発し、担い手であるフレイルサポーター（地域高齢者）を養成することで、参加高齢住民とともにフレイルの兆候に気づき、フレイル予防活動を持続的に行える地域プログラムを開発した。

2022年度のフレイル予防の演習は現在、進めている科学技術振興機構（JST）・未来社会創造事業（研究課題名：新価値‘IKIGAI’ 駆動による社会貢献活動の個人最適化）の一環として実施する。具体的には定例全体会に参加し、JST研究の目的である地域貢献活動の担い手（例：フレイルサポーター）が活動を通じて感じる生きがいを新価値IKIGAIの概念で再構築し、その人の行動情報から計測・定量化するプロセスを研究進捗報告で理解する。最終的には本研究の目標である地域活動を通じた生きがいの可視化、生きがい向上の介入策開発や新たな担い手の確保など超高齢社会の地域課題解決に挑戦する総合知（人文、情報理工、工学系、老年医学）の研究取組みに参加することで、自分の研究の考え方、分野横断連携の在り方を学ぶ。

■**日程**：

10/14（金）14:00-17:00（3h）フレイル予防実習ガイダンス+JST-MIRAI全体会議
11/17（木）15:00-17:00（2h）JST-MIRAI全体会議
12/7（水）14:00-16:00（2h）JST-MIRAI全体会議
1/12（木）15:00-17:00（2h）JST-MIRAI全体会議
2/14（火）15:00-17:00（2h）JST-MIRAI全体会議
3/14（火）15:00-17:00（2h）JST-MIRAI全体会議
日程調整中 文京区通いの場での多世代交流（現場体験）

■**留意事項**：

- ・上記プログラム出席希望者は必ずフレイル予防ガイダンスを受講すること（録画対応可）
- ・各全体会議への出席希望者は、（孫）son@iog.u-tokyo.ac.jpへ連絡すること。
- ・10名程度を1回の履修限度とする。

■**担当教員**：大月敏雄（工学系建築学専攻・教授）、李ヨングン（工学系建築学専攻・助教）

■**概要**：

八王子市めじろ台地区は 1970 年代から戸建て住宅を中心として開発された住宅地であるが、急激な高齢化が進行している。ポスト超高齢社会を見据えた根本的なまちづくりの計画と実践を目指して、地元自治会をベースに 2019 年に設立された「まちづくり協議会」に外部支援者として参加し、住民と共にまちづくりを考え、実践する。

■**日程**：

<以下は2022 年度 S セメスター入点分。>

4/15 金 1730-1830 (1h) めじろ台ガイダンス
4/24 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
5/29 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
6/26 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
7/24 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会

<以下は A セメスター入点分。>

8/28 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
9/25 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
10/22 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
11/27 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
12/25 日 1300-1600 (3h) まちづくり協議会
※ (1 月以降は決まり次第連絡)

■**留意事項**：

- ・上記プログラム出席希望者は必ずめじろ台ガイダンスを受講すること（録画対応可）
- ・各協議会への出席希望者は、（大月）bigmoon7505@gmail.com と（李）lee.yonggeun@gmail.comへ連絡すること。
- ・上記協議会の分科会等の形で実施される各種会合に参加した場合も、上記と同様にプログラムの対象とする場合があるが、その際は事前に大月に相談すること。
- ・Zoom か現地かのいずれかで実施予定。
- ・現地開催の場合、各自の交通費は、別途支給するので、この場合はすぐに大月に連絡すること。
- ・10 名程度を 1 回の履修限度とする。

■**担当教員**：二瓶美里、菅原育子、藤崎万裕、三浦貴大、藪謙一郎、吉田涼子、吉崎れいな、伊藤研一郎

■**概要**：

近年、高齢化社会に起因する社会的課題に対して、AIやIoTの利活用による課題解決に関心が向けられている。一方で、活力ある高齢者が増加するとともに高齢者の生活スタイルやニーズも多様化しているため、用途に特化したソリューションでは高齢者の生活を十分に支援できないことが明らかとなっている。そのため、高齢者が自律的に自身の課題解決に取り組める柔軟性を持った社会実装のあり方について検討する必要がある。本演習では、高齢者が直面する生活課題を解決するのに、高齢者が自律的なQoL向上を目指すことが可能な生活支援ICTシステムの社会実装の検討を行う。具体的な活動としては、①**高齢者の生活スタイルとニーズを理解するヒアリング調査などの活動**と、②**実証実験を通じた社会実装の検討の活動**である。AIやIoTのみならず、VRやメタバースなどの最先端のテクノロジーを活用した座学やプロジェクトの聴講などを演習の対象とする。具体的にはジェロントロジー・アカデミーのいくつかの講義や研究プロジェクトへの参画や、共創センターやVR教育研究センターの活動も一部含める。また、プログラムを主体として得られた調査結果は学生を主体として論文執筆・国際会議発表をサポートし、著者や発表者の活動もプログラムに含める。

■**日程**：

10/03月 1800 – 1900 (1h) G-techガイダンス
10/08土 – 10/10 模擬住居データ計測
11月 日程別途調整 (3h) インタフェーステスト・予備実験
12月 日程別途調整 (3h) 調査実験
02月 日程別途調整 (3h) 調査・実験データ分析・論文執筆
03月 日程別途調整 (3h) 秋学期まとめ・春学期計画の相談会議
12/23 金 (3h) ジェロントロジー・アカデミー『情報とシステム』
日程別途連絡 (3h) ジェロントロジー・アカデミー『ジェロンテクノロジー』

■**留意事項**：

- ・上記プログラム出席希望者は必ずG-techガイダンスを受講すること（録画対応可）
- ・調査活動や実証実験の計画・準備会議（ライブラリ/zoom開催）などに参加すること
- ・日程が決まっていないところは、履修者と相談しながら決定予定
- ・交通費、研究活動経費は別途支給
- ・履修希望者は伊藤（k.ito@iog.u-tokyo.ac.jp）・吉崎（r.yoshizaki@mfg.t.u-tokyo.ac.jp）まで連絡をすること



高齢社会演習

2022年度 プログラムNo. 2205

「住民参加型のオープンイノベーション鎌倉リビングラボ活動の実習」



■**担当教員**：秋山弘子（高齢社会総合研究機構客員教授）、吉田涼子（高齢社会総合研究機構学術専門職員）

■**概要**：

リビングラボとは、生活の現場（住んでいる自宅、地域など）において、企画段階から住民を巻き込み、企業、自治体、大学、各種団体等が互いの強みを持ちよって暮らしを豊かにするモノやサービス、社会の仕組み等の新たな価値を共創する活動です。東京大学高齢社会総合研究機構は、鎌倉市、今泉台町内会、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台、三井住友FG等と「鎌倉リビングラボ」を運営し、高齢社会の課題を解決するモノやサービスを創り出す活動を行ってきました。本実習では、リビングラボで行われるワークショップ、インタビュー等に参加することで、リビングラボとは何か、民産官学による協働やそこで生まれるアイデアがモノやサービスに結びつく過程を体験します。加えて、大学・自治体・企業・組織等の約400団体900名が登録し、リビングラボに関する研究発表や意見交換、交流を行う「リビングラボ研究交流会」への参加機会を提供します。（開催は年に2-3回を予定、不定期）

■**日程**：

リビングラボの開催日時は未定。決まり次第、活動日の約1ヶ月前にメールにて募集。活動はCOVID-19の状況により、オンラインまたは現地（鎌倉市内）での参加。研究交流会は不定期開催。日時が決まり次第メールにて募集。実施はCOVID-19の状況により、オンラインまたは本郷キャンパス。

■**留意事項**：

- ・現地開催の場合、交通費は別途支給する。
- ・リビングラボは毎回若干名をhomerom@を經由して募集する。受入人数の上限は内容によって変動する。
- ・リビングラボ研究交流会への参加は上限なし。



高齢社会演習

2022年度 プログラムNo. 2206

「ジェロントロジー・アカデミー共同研究」



■**担当教員**：飯島勝矢（未来ビジョン研究センター・教授）、辻哲夫（高齢社会共創センター・共同研究員）、田中友規（工学系・特任助教）、田中康夫（工学系・学術支援専門職員）、神谷哲朗（工学系・学術支援専門職員）、高瀬麻以（工学系・特任研究員）

■**概要**：

IOG が推進する東京大学ジェロントロジー産学連携プロジェクトのプログラムである、ジェロントロジー・アカデミー ジェロアカが、企業人と研究者を繋ぎ、連携していくための双方向の連携の場として2020年度から設定された。本プログラムでは、ジェロアカへの参加を通して、ジェロントロジー研究が社会実装へ向けて応用されてゆくプロセスを体験的に理解する。

■**日程**：

別紙参照

■**留意事項**：

- ・各回の情報は homeroom@ で共有いたします
- ・参加が授業などの理由によって困難な学生に向けて、フォローアップ課題を配信します
- ・実習日誌はICT LMS 上で集めます



■日程：

高齢社会演習 2022年度 プログラムNo. 2206 「ジェロントロジー・アカデミー共同研究」



ジェロントロジー産学連携プロジェクト日程(案)

アカデミー・総括会は原則として3時間 サロンは2時間

	全体対象	共同研究会	アカデミー	サロン		全体対象	共同研究会	アカデミー	サロン
4月	19火14-17全体会			21木15-17飯島先生を囲む会	10月	事業地視察 13日木			
								25火15-17飯島先生を囲む会	
5月			12木13:30~16:30第1回		11月			11金13:30~16:30第9回	
			31火13:30~16:30第2回					25金13:30~16:30第10回	
6月	事業地視察 8日水				12月			9金13:30~16:30第11回	15木15-17飯島先生を囲む会
			14火13:30~16:30第3回	23金13:30~16:30第12回					
			16木15-17飯島先生を囲む会						
7月			12火13:30~16:30第5回		1月			13金13:30~16:30第13回	
			26火13:30~16:30第6回					24火13:30~16:30第14回	
8月			9火13:30~16:30第7回		2月			10金13:30~16:30第15回	17金15-17飯島先生を囲む会
			23火13:30~16:30第8回					24金13:30~16:30第16回	
9月	合宿7日水~8木				3月		10金14-17年度総括		
	27火14~17前期総括	24金14-17ジェロプロ活動総括							

■ 選択必修4単位 高齢社会横断科目群

- ・ 詳細は別紙一覧表参照
- ・ (リーディング大学院向) 旧高齢社会総合研究特論
- ・ 科目一覧はGLAFSのHP参照
- ・ 成績の確認

高瀬さんから説明

■2022年度Aセメスターのスケジュール (予定)

●秋学期ガイダンス

10/1土 1400-1500 (ガイダンス) 1600- (交流会)

○高齢社会通論1 (飯島)

○高齢社会演習 (各教員)

●博論修了発表会

3/1水 時間別途連絡。なるべくD2以下も主席ください

●3月全体発表会 (学修進捗発表 + 博論進捗発表)

3/4土 1000-1500 (発表) 1700-(交流会)

※M1からM2に進学する人はQEを兼ねます。

●修了式

3/23木 1700-1800 (修了式) 1800- (交流会 + OB会)

※今後重要書類等はhomerom@で配布の上、
グーグルドライブを設定してアップします

その他（演習ポイントになることも）

■IOGのイベント

- 研究報告会
- 国際共同研究会
- 年次総会
- 見学会

質問受け付け先：

info@glafs.u-tokyo.ac.jp

■工学系WINGS関連プログラム2022年度から

- スペシャルレクチャー（企業トップ）
- 他のWINGSプログラムへの参加
- IARU 今年3名 コペンハーゲン大学